

令和4年度 学校評価

加古川市立別府中学校

学校教育目標 「一人一人を大切にし 共に生きる心と力を育てる」
めざす学校像 「みんなの瞳 輝く 学校」
～挨拶・協力・感謝の実践化を通して～

<重点目標>

- ①知・徳・体をバランスよく育て、「自ら生きる力」を育む
- ②基礎的基本的な学力の定着をはかり、主体的に学び、考え表現する力を育てる
- ③生徒の主体的な活動の活性化をはかり、「共に生きる心と力」を育む
- ④いのちを大切に、人権を尊重する教育を推進する
- ⑤一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行う
- ⑥危機管理意識を高め、安全・安心な学校を創造する
- ⑦教職員としての指導力と資質向上に努め、よりよい組織形成をめざす
- ⑧地域から信頼される教育の環境づくりに取り組む

- 評価基準
4:よい
3:ややよい
2:やや悪い
1:悪い

評価指数とは (4×4の人数)+(3×3の人数)+(2×2の人数)+(1×1の人数)/合計人数 特に良い● 特に悪い▲ 評価指数の平均値は2.5 平均3.5以上で○、2.5未満で△として表示

領域	質問項目 (学校の自己評価アンケート)	評価指数						質問項目 (保護者・生徒アンケート)	評価指数						改善の方策(今年度)	関係者評価			
		R4	R3	R2	R1	H30	H29		R4	R3	R2	R1	H30	H29					
学校生活全般	1 生徒のあいさつ	▲	2.9	3.4	3.3	3.5	3.2	3.5	生 地域や学校で進んであいさつができた。	3.4	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	○本年度の調査では「生徒のあいさつはできているか」の問いに対して2.9ポイントと過去最低得点である。挨拶をしても返事が帰ってこない状況が起きている。日常の学級指導や学年指導だけでなく、特別活動を通じて開発的な指導が望まれる。	あいさつが、できているという保護者や生徒と、できていないという教師のギャップをなくすよう指導していただけたら良い。		
	2								保 自分から進んであいさつをしている。	3.1	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1				
	3 生徒の協力性		3.1	3.3	3.1	3.3	3.3	3.1	生 係や班活動、行事などで級友と協力して取り組んだ	○	3.5	3.6	3.5	3.6	3.4	3.5	部活動を通してあいさつや礼儀等の指導を続けてほしい。		
	4								保 家庭の中で協力的	3.0	3.1	2.9	2.9	2.9	2.8		地域の子どもたちにスポーツ指導を通して技術だけでなく礼儀やマナーを教えているが、子どもは親の鏡だと感じる。		
	5 まわりへの感謝								生 周りの人に感謝している	○	3.6	3.7	3.6	3.6	3.5	3.4			
	6								生 学校生活は充実している	3.4	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4				
	7 学校生活での充実度		3.2	3.3	2.7	3.6	3.4	3.4	保 学校生活を充実感・満足感をもっている	3.1	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1				
	8								保 学校は子どもが学習するのに適した環境である。	3.0	3.2	3.1	3.1	3.0	2.9				
学習(学力向上)	9 学習規律	▲	2.9	3.5	3.6	3.5	3.6	3.4	生 ベルスタはできた	3.3	3.3	3.4	3.5	3.3	3.4	○今年度4月よりタブレットを利用し、インターネットにつながった電子黒板を活用する授業が増えてきている。今後は生徒がタブレットを日常的に使いICTの活用能力を高める授業をすすめる必要がある。	学習環境・進学率・個別のサポート体制について、不登校の生徒が安心して進学ができるようにしてほしい。		
	10								生 準備物・宿題・提出物	●	3.0	2.5	2.9	2.9	2.8				
	11								生 授業はわかりやすかったか	●	3.1	3.1	3.1	3.0	2.9	3.0		ノー部活デーにノー会議デーを合わせて業務改善をする中で、放課後の補充学習をするなど、生徒との時間を作っていただけて感謝している。	
	12 基礎的な知識技能、学力の定着		2.8	2.9	2.6	2.8	2.7	2.7											
	13 思考力・判断力・表現力		2.6	2.7	2.5	2.6	2.6	2.5											
	14 ことばの力		2.7	2.8	2.8	2.7	2.5	2.3											
	15 家庭学習	▲	2.6	3.0	2.8	2.6	2.8	2.8	生 家庭での学習時間は、3時間以上～30分以下	△	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	○「個に応じた教育的支援」に関して年々評価指数が上昇している。通常学級における個別の支援の在り方を各教員が考え工夫している成果と考えられる。	みかしお学級の発表会はコロナ前と形は変わったが、生徒の学びや日常から感じていることを知ることができたと好評であった。○生徒や保護者ともに思いやりの心を持ち、人を大切にしている点は大きく評価できる。	
	16								保 家庭学習の習慣が身についている	2.8	2.9	2.6	2.6	2.6	2.6				
17 教師の授業力向上		2.8	2.9	2.8	2.8	2.6	2.6												
18 個に応じた教育的支援	●	3.1	3.0	2.9	2.8	2.7	2.7	保 学習の様子や努力を適切に評価している	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0	2.9					
人権・道徳	19 生徒の道徳性を養う		2.9	3.0	2.9	3.0	2.7	2.8	生 思いやりの心を持ち、人を大切にしている	○	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	*	○みかしお学級については、これまで、コロナ禍において実施ができなかったが、ようやく参加生徒数の回復がみられた。	生徒の同和教育への知識理解度がだんだんと高くなってきているが、2.7と低いので、社会に出るまでに正しく判断できる知識をつけてもらいたい。	
	20								保 思いやりの心を持ち、人を大切にしている	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	*				
	21 生徒の同和教育への知識理解度	●	2.7	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4									みかしお学級の発表会はコロナ前と形は変わったが、生徒の人権感覚の素晴らしさに感動した。これからも人権や道徳の学習を通して人を大切にする教育をお願いしたい。		
	22 人権・道徳の授業力		2.8	2.9	2.7	2.8	2.6	2.5											
	23 計画からの実施状況		3.0	3.1	2.8	3.0	2.6	2.7											
24 みかしお学級での活動		2.8	2.0	1.9	3.1	2.8	2.9												
特別活動	25 行事、生徒会活動		3.4	3.6	3.2	3.5	3.2	3.2	生 委員、係の活動に積極的に取り組んだ	3.4	3.4	3.4	3.5	3.3	3.3		○コロナ禍で特別活動の制限を余儀なくされているが、生徒が主体的に物事の是非を考えさせるとともに、創造力を身につけさせたい。	特別活動を通して生徒の成長は大きいと思うので、コロナ禍ではあるけど工夫して頑張ってもらいたい。	
	26 部活動を通しての成長		3.1	3.2	3.2	3.1	3.1	3.2											
	27 生徒の服装・頭髪の乱れ	▲	3.2	3.7	3.5	3.6	3.4	3.2											
生徒指導	28 生徒の服装・頭髪以外の生活ルール	▲	3.0	3.3	3.2	3.3	3.2	3.1	生 ルールを守って生活した	○	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5		○多くの生徒はルールを守り、規範意識も高い。校則の見直しをしている現段階で、生徒が勝手に枠を崩すのではなく、社会通念を踏まえた校則を考えていく中で、自己指導能力を培う体制づくりを行う。	校則について生徒が、ルールを破るから仕方なく変えていくのではなく、生徒が社会の常識と社会の変化を見極めて「なぜという理由のもと」変えていくよう導いてほしい。
	29 生徒指導力の向上		2.8	2.9	2.9	2.8	2.6	2.6										生徒会などの話し合いの中で生徒が変えていく活動をお願いしたい。	
	30 教師間の共通理解や指導の方向性		3.0	3.2	3.1	3.2	2.9	3.1										地域の指導者登録をしている。研修を受け、子どもたちへの接し方のマニュアルがある。	
	31 学年間の連携	▲	2.8	3.1	3.0	3.1	2.9	2.9											
家庭・地域との連携	32								保 現状や取り組みを、便りやホームページなどでわかりやすく伝えている。	3.1	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1		○今年度も地域の方からの生徒の親切な行為に対するお礼や賞賛の言葉が多く聞けた。生徒の善行をしっかりと形でも承認し、その中で過ごしやすい学校、住みよいまちづくりを推進する。	地域の方から別府中学校の生徒の心優しい言動についてよく聞く。今後も良い情報があればどんどん学校に報告していきたい。	
	33								保 学校をよく知ってもらうために、参観できる機会を適切に設けている。	3.2	2.9	2.6	3.2	3.2	3.0				
	34 PTA、地域、ユニットなどの取り組み		3.2	3.1	2.7	3.3	3.1	3.2	保 学校行事にできるだけ参加している	○	3.5	3.5	3.2	3.3	3.3	3.2		あいさつは中学校だけでなく小学校と連携してもらい、地域も一緒になって学校を支えていきたい。	
	35								保 子どものことについて、気軽に相談することができる。	3.0	3.0	3.0	3.0	2.8	2.7				
	36								保 地域や保護者の意見に丁寧に対応している	3.0	3.1	3.2	3.2	3.0	2.7				
学校運営	37 学校目標の明確さ	●	3.3	3.3	3.0	3.1	3.1	3.1										○本年度はICTの活用や新制服の検討に伴うLGBTQに関するジェンダーレス研修を複数回行った。	今は保護者は匿名でメールが投稿できる。自分自身も地域指導者として難しい時代になってきていると感じる。ハラスメントにならないように学校運営も難しい時代になっているが連携を大切をお願いしたい。
	38 学校としての組織的な活動		3.2	3.3	3.1	3.1	2.9	3.0											
	39 勤務時間の適正化・業務改善		2.6	2.9	2.5	2.5	2.4	2.3											
	40 設備施設の改善		2.7	2.9	2.8	3.1	2.6	2.6											
	41 報告連絡相談などの連携体制		3.1	3.2	3.1	3.1	3.0	3.1											
	42 危機管理対応		2.9	3.1	2.7	2.9	2.8	2.9											
	43 研修の充実度	●	3.2	3.1	2.9	3.1	2.8	2.9											○自他を大切に毎日の生活が楽しいと思える生活を送るために、生徒の自己有用感の醸成を目指している。学校目標を中心に、各教師の自己目標を作成している。